



蒲幼稚園 No.7 R5,12,22

園庭で裸足になるのは当たり前。園庭改造後いつの間にか蒲幼稚園の園庭では当然の姿になりました。どんなに寒い日でも一人二人は裸足で駆け回っています。遊び終わって、砂まみれになった足を洗うとき「今日のお水は冷た〜い」と身を縮込ませて気が付くもの。夢中になって遊べるって幸せですね。

# そとであそぶの、だ〜いすき！



## 砂場で遊ぶ



2段の砂場ならではの遊びです。丸太の下を掘って樋を通し、水を流してみると…。頭に思い描いたことを実現しようと必死に考え取り組んでいました。形を変えて連日楽しんでいる遊びです。



季節を問わず、流しそうめんをイメージして遊ぶ子が何人もいました。いろいろな場所に樋を掛け、水を流してみる。何気ない毎日の繰り返しから学ぶことはたくさんあるはずですよ。



真っ白い画用紙を目の前すると緊張してしまう子も、地面にだったら自分の体以上に大きな絵をのびのびと描き進めていくものです。そこから遊びのイメージが膨らみ、別の遊びへと発展していくこともありました。

## 地面に絵を描く

道具が何もなくても楽しめてしまう外遊びの一つです。そこに石ころ一つ、枝を一本見つけられたら、尚のこと楽しい！すぐに消えてしまう儚いものですが、瞬間瞬間に表出される子どもの思いが生き生きと描かれています。



## 縄跳び



縄跳びに挑戦しやすい季節になりました。縄跳びは上達度を自分で把握しやすいので、自ら目標を定めたり、目標に向かって取り組んだりしやすい遊びの一つです。「昨日は跳べなかったのに今日は3回も跳べた！」「私も100回跳べるようになりたい」友だちに刺激されながら自分自身と向き合ういいチャンスです。明日は何回跳べるかな？冬休みにぐっと記録を伸ばしてくる子もいるでしょう。休み明けが楽しみです。

## 泥団子作り



園庭の真ん中にずっしりと腰を据え、無心に泥をかき集める子どもたち。小さな手で握ることから丸める動作へと徐々に変化していきます。その間に泥の感触や力加減などたくさんの技術と知識を蓄え、やがて月組さんが見せてくれた憧れのまん丸ツルツル団子へと進化していくのです。



## 鬼ごっこ

園庭に出るとまず鬼ごっこからスタートする子が多くいます。バナナ鬼や水鬼、警泥などルールが分かりやすい鬼ごっこには、クラスや学年の枠を超え、たくさんの子どもたちが集まってきます。同じ色のバッチに親しみを感じたり、同じ名前の友だちに出会って一気に仲良くなるなんてことも…！また気心知れたクラスの友だちとは言い争いになるようなことも今日はちょっと我慢。そんな気遣いも遊びの中で学んでいる子どもたちです。



11月のプロジェクトでまいたタネから芽が出て、随分と大きくなりました。だんだんとお日様を恋しがる様子が見られたので、先週水曜日職員で土を耕し苗の植え付けを行いました。これから本格的に寒くなる冬を乗り越え、春にはきれいな花を咲かせてくれることでしょう！

### 3学期も元気いっぱいあそぼうね！

